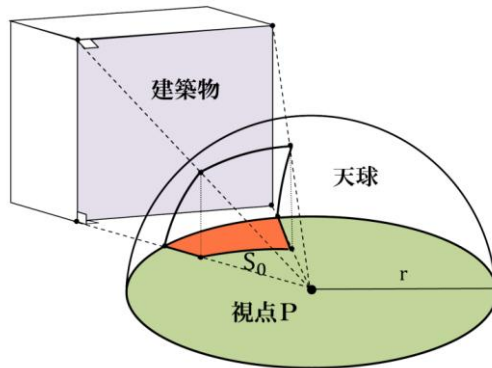


形態率（天空遮蔽率）

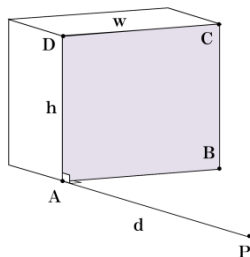
<定義>



地上の視点Pを中心として想定される平面の面積（ πr^2 ）に占める、建築物を天球に投影したあと、地面に水平投影した図の面積（ S_0 ）の割合を天空遮蔽率または形態率といいRSで表わす。すなわち

$$RS = \frac{S_0}{\pi r^2} \times 100$$

<算定式>



高さ h 、幅 w の直方体の建物において視点に向いている壁面をABCDとする。壁面の左下をAとして反時計回りにB,C,Dをつけるものとする。視点PをAから d だけ離れた位置とすると視点Pにおける形態率は

$$RS = \frac{1}{2\pi} \left(\tan^{-1} \frac{w}{d} - \frac{d}{\sqrt{d^2 + h^2}} \tan^{-1} \frac{w}{\sqrt{d^2 + h^2}} \right)$$

で与えられる。